

授業科目	＊基礎英語（B クラス）					単位	1		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO11601J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3				
担当教員	八尋 春海								
授業概要	1. 担当教員が指定したテキストに取り組む。 2. 英語を声を出して読むことができるようになるトレーニングをする。 3. 対面授業で行う。								
学生が達成すべき行動目標	1. 比較的長い英文の読解ができる。 2. 習慣として英文を読むことができる。 3. 多読の Report を 5 週間分以上を提出できる。200 ページ以上を読める(レベル問わず)。＊これが、評価割合の「レポート」30%です。 4. E-Learning の CHleru(チエル)の学習マイルが、350 マイル以上獲得できる。＊これが評価割合の「レポート外の提出物」の 10%です。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	60	0	30	0	10	0	100		
知識・理解（DP1-1）	20		10		10		40		
知識・理解（DP1-2）	20		10				30		
知識・理解（DP1-3）	20		10				30		
知識・理解（DP1-4）									
思考・判断（DP2-1）									
思考・判断（DP2-2）									
関心・意欲（DP3-1）									
関心・意欲（DP3-2）									
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)									
態度（DP4-3）									
技能・表現（DP5-1）									
技能・表現（DP5-2）									
技能・表現（DP5-3）									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
1 辞書を使わずに比較的長い文の読解ができる。				1 辞書を使って比較的長い文の読解ができる。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 大学での英語の学習方法の基本を学ぶ	講義	テキストの最初の章の2ページの和訳をする。	60
2	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の方法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
3	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読における語彙力増強について学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
4	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の英会話への応用を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
5	テキストの該当箇所の和訳をする。 速読の方法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
6	テキストの該当箇所の和訳をする。 英文の流れのつかみ方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
7	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解のリスニング力への応用を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
8	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解の英作文力への応用を学ぶ。 中間テスト	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
9	テキストの該当箇所の和訳をする。 動詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
10	テキストの該当箇所の和訳をする。 副詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
11	テキストの該当箇所の和訳をする。 自然な日本語訳ということを学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
12	テキストの該当箇所の和訳をする。 法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
13	テキストの該当箇所の和訳をする。 関係詞を含む文章の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
14	テキストの該当箇所の和訳をする。 不定詞の用法の違いによる訳し方を学ぶ。 まとめ	演習、講義	理解が不十分だと思われる章を読み返す	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校までに学んだ英単語を確実に身につけておく。			
テキスト	担当者が指示したテキスト 共通テキスト： カラー版 TOEIC テストに できる順英単語 河上 源一（著）ブルース ハード（監修） Bruce Hird（原著） Kadokawa ＊このテキストは、最初からp184 までがこの授業の範囲です。授業最初の小テストで使います。これに遅れたら「遅刻」となります。小テストは評価に入れません。共通テキストは、後期の応用英語でも使います。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学の図書館にある多読教材 NHKの英語講座「Enjoy Simple English」や「ラジオ英会話」、「英会話タイムトライアル」、「高校生からはじめる「現代英語」」等は続けて利用すると効果的です。 TED: Technology, Entertainment and Design（人気の講演動画オンライン） 英語字幕、スピード調整できます。 Storyline Online (https://www.storylineonline.net/) 英語圏の子ども向け物語をハリウッドスターが朗読。字幕、スピード調整できます。 YouGlish (https://youglish.com/) 単語の発音を実際のスピーチで聞ける。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	評価割合の試験(60)は、中間テスト 30、最後のテストが 30 で、合計60です。 多読の Report は、毎月少なくとも 1 回分は出すこと。授業期間の最終月に新規に 3 週以上分をまとめて出すことはできません。 次の人を表彰します。CHleru の学習マイル数が多い人、英語の多読のページ数が多い人、またページ数も多くてレベルの高い本を読んだ人。			
達成度評価に関するコメント	日頃の授業の課題について、辞書を使い、丁寧に調べるという地道な取り組みが大事です。 E-Learning の CHleru と多読については、入学後のオリエンテーションで説明します。			

